夕刊
磐城新聞
七月二十日發行
（日曜祭日翌日休刊）
定價 一ヶ月金五十錢 郵税共 金六十五錢
廣告料 普通欄 金九十錢 特別欄 金六十錢
編輯印刷發行人 柏木 晉
發行所 磐城新聞 合名會社
電話 五六四番

兵營日誌

平町　秋月俊一郎

三月二十日　內務檢査、期待よりも簡單なるに驚き總ての檢査は檢査夫自身よりもその準備が主であることが分明となつた。整然たる整頓、綺麗に手入れされた被服等を見るときは流石に氣持が良かつた。自分も軍隊に來て整頓や清潔の觀念が非常に强くなつた。亂雜にした書齋を見られて父に叱られ〳〵したことを思ひ出して今昔の感一入であつた。境遇は常に人間を支配する。動物學上の『適應』の原理は精神的にも嚴密に活動する。科學的素養のあまりない初年兵が日常科學的用語を自由に操るのをみても分る。共同生活の至難なることが益々强く感じられる、由來東北人には傳統的に暗い方面を見る一種の孤獨主義的色彩がある。自分は物事を明るく解釋しやう

三月二十四日　師團兵器檢査。朝手入時。長尾軍曹殿の指揮を以て石廊下に携帶兵器を排列す。何の關係もなく檢査は過ぎて行つたデユーマの『椿姫』を讀む。一言一句吾が胸を突く、賣春婦の戀！如何に輕蔑された人間でも、如何に惡に染むだ人間でも一度慈當なコンディションを與へるならば必ず美しく立ち返るものであることが淺々感じられた、性は惡でもなく善でもない。善惡は常に對立して外部からの働きかけを待つてゐるのだ。孟子も老子も彼等は共に楯の半面を見てゐるに過ぎない。性善説も性惡説も一つのドグマたるを免れない。夕食後手紙を書く。友の幸福を祈りつゝ

三月二十六日　日曜日、午前九時より十一時まで馬手入。馬を石鹸にて洗ふことは生れて初めてのことなり。その徹底的なのに驚く午後『椿姫』を讀む。讀み終つて酒保に行き若干時過して後寢台教練。外出せざる日曜は面白からず。夕食時週番上等兵殿より手紙を逹せらる。『秋月候補生に手紙が來た明日天氣が變るぞ！』とは同僚の惡口だが手紙は意外にTからだつた。彼は相變らだSと仲善く一生懸命らしい。東京の下宿の二階で勉強してゐるデカタン的な彼の姿が眼に映る將來中學の先生になる彼は全く若者としてその生活樣式は正當を欠いてゐるのが氣にかゝつてゐるのだがしかし一つの確固とした目的を持つてゐるのだから兎に角幸福だ。Tよ幸福に暮せ

磐新歌壇

小山田滋選

『空辨當』　田中賢介

○ひた押しに今日を一日おしきりて身も神經もくたくたとなる
○首玉に空辨當をくくりつけ夜業當番と交代をする
○降りつゞく入梅氣の雨のくらければ吾が生活を陰慘にする
○無造作に土間に投げ込む村會の選擧票札をまさぐり拾ふ　（盲父）
○おのづからゆるる若葉のひかりさへ神經ふかく觸るるを恐る

夏雲二題

高瀬勝男

燒酎

世迷人は噂話に悧巧になつてゆく之靈は濕地から出て彷徨ひ、此處に世迷人、陰火の如く腳落付なくして甲乙の間のたまたまの私事をしたり顏に、ふれあるく聽くところ、淨はりの鏡あらば忽ちなれども、本當にして勝男眞僞を矯さず善哉善哉と嘯く。

之者は己のみの姿にさへその影を認めずだ。口を肥して唇に殘肴を止む燒酎の味、又格別。夕立ゐつて涼風をうけながら酌めば一層の味あらんも孤寢の床こうして、原稿を書きながらの む味でもわるくない。

新妻あらば燒酎に喩ひして、乞ふ。君一ぱいの盃、暑氣を除ひ、二ばいの盃夫婦相琴たりと。

明け烏わたる空を見る
空の朝月

晴耕雨讀

ささきあきら

(25)

弔古戰場文　芭蕉

五月雨のふり殘してや光堂

机銘　芭蕉

間なる時は臂をかけて答爲吹嘘の氣をやしなふ。靜なる時は書を紐といて、聖意賢才の精神をさぐり、閑なる時は算をとりて、義素の方寸に入、たくみなすしまづき、一物三用をたす。く高さ八寸、面二尺、兩脚にあめつちのふたつの卦を彫にして、潛龍牝馬の貞に習ふ。是をあげて一用とせむや。また二用とせむや。

內藤露沾侯の句

名聞を離すもあり更衣

（俳諧古選）

むくつけき生海鼠を動く朝渚

梅一木つれ〴〵草の姿かな

一時雨またくつをるる日影かな

星さえて江の鮒ひらむ落葉かな

溫石のあかるる夜半やはつ櫻

もの〳〵の心根とはむ月見かな

拈華微笑

土用中の選擧話無競爭の凉しい處で遣つて貰ひ度い

◇

死傷軍人の子弟に授業料免除。最も力强い銃後支援の活敎訓

◇

每度の縣下第一中、貯金高の其れなんか持に嬉しい

◇

六軍人を表彰された田巻さん。今夜大に造酒之助を發揮乎？

◇

爭はれぬ此の暑さ。けふから愈々土用に入る

蛾

一木二郎

蠶棚のそばの
うすらやみ
仕事してゐる
おつ父の、
肩にとまつた
白い蛾に
死んだ母さん
想ひ出す。

ぺんぺん草

火の見櫓に
のぼつたら
おらがわら屋根
見えたけど
ぺんぺん草が
のびてゐて
默つて一人
おりてきた。

平野抄

渡部嫁寶

あかざ丈にのびこほろぎの女夫ひそみなくに

盆の花のやがて腐りしが叢の中に

蜂を飼ふすべりぎの家訪ふほどに

牛とくらすあるひは野に出づる走り穗の道

豚小屋低い家根並び播いた黍が苅らず

楓ずわ枝を伸し伸したる末の紅い芽

こゝに茜さす觀音雲あけぼのを呼び

社會の今日

7月21日　△僧文覺寂す（建仁元）△家康會津征討發程（慶長五）△群馬埼玉兩縣民水爭ひにて六十餘名負傷す（昭和五）△上海の排日運動激化我が商品を押收す（同六）△英帝國經濟會議オッタワで開會（同七）

○

家のあるじ都にいでゝ程なきに、杉山檜山賣るといふなり　佐々木信綱

夏足袋や人もなげなる撒水車　梅窓

講談　劍火無情

(71)　津屋義人作　菅野祐作畫

磯ヶ濱引揚げ（二）

下市の材木屋、伊勢屋甚兵工方の奥まつた一室に深く閉ぢ籠もつてゐる江戸の易者、細川阿龍軒と名乘つてゐるが尋常一般の賣卜師とは違つて人品骨柄は立派だし、服裝も法眼袴を穿いて十德を着し。頭髮は四方切下げ髮、威ある中に人との應待は愛嬌水の滴る許り。主人甚兵工とは何ういふ緣合か、恰も主從の如くに甚兵工は先生々々と尊敬してゐる

次の室に爐を切つて、茶に附切りの小間使がしきいに兩手を支へ

『先生樣、唯今店へ上市の旅籠鶴屋市兵工の番頭半助といふ人が參りまして、失せ物に就て見て戴きたいと申しますが、如何致しませうかと主人が申して參りました』

阿龍軒領いて

『オ、旅籠屋の失せ物とあるから多分客の指物であらう。人助けになる事ゆゑ直ぐ易を立てゝ進ぜやう。此處へ通しなさい』

小間使は畏つて、之を取次の手代に傳へる。手代は店の間から半助を案內しながら

『細川先生は却々毛嫌ひをなすつて一通りの事では見て下さらない。第一對手が武士だと直ぐお斷りなさる一般人助けの事ゆゑ百姓町人なれば男女に拘らず鑑定してやる、エラさうにする武士などには決して對手にならぬと被仰る、それから町人でも金持だとか大地主だとかいふと、お斷りなさるそれは〳〵難かしいお方だのに、直ぐ御承知下すつたのはお前さんの僥倖といふものだ』

恩に被せられて半助は恐る恐る其の奥の室に通つた先生は半助の顏を一目見ると

『オ、客人の失せ物であらうな、方角は俺のツイ前に當る。詳しく言へば其失せ物はお前の懷中にある』

半助は目をパチクリして

『ヘエー何にも申上げません中から妙な事を被仰いますね、私は失せ物の穿鑿ではございません』

『アッハヽヽ、隱しなさんなチャンと判つてゐる、其失せ物を早く其の懷ろから出して俺に渡しなさい、それでお前の役は濟む』

『成程、さう被仰れば申上げますが、私方へお泊りの…………』

『言はんでも判つてゐる、其書面を默つて出すが可い！』

『ヘイ〳〵畏りました』

狐につままれたやうに半助はキヨトリとして彼の婦人客からの手紙を渡すと阿龍軒先生一寸披いて見たゞけ

『可しく、磯ヶ濱と一言云へば可い別に返辭は遣らんもう歸つて可い』

半助は言はるゝ儘に米つきばつたの如くに辭儀許りして歸つて行つた

水戸城の砲聲は益々烈しく聞へるので伊勢甚の主人も氣が氣でなく

『先生、お伺ひ申しますが愈々戰爭が始まりましたやうで近所の者も家財家具を取纏めるやら、年寄や女子供を御城下の外へ遁すやらして居りますが、私共でも女達が恐ろしがつて困ります、何う致したものでございませう』

『オ、亭主、今朝から云つてあるではないか。幾ら大砲が鳴つても斬合があつても決して心配する事はない此戰爭は一時の騷ぎで眞個の戰ひといふのは猶且邪波山と磐船山、それから那珂の港と極つてゐる見てゐなさい聽て砲聲は鎭まるに違ひない、イヤ全く俺の見た卦に顯れて居る』

『左樣でございますかな』

小間使も不安さうに落ちて着かぬ顏してゐた

半時程經つと此家の番頭五兵工が戶外から歸つて來て

『オ、先生、旦那も此處にお在でございましたか、唯今松平大炊頭樣御入城なさらうとする所を城內から市川三左工門樣、大砲を撃ち出されまして旣に合戰となります所、武田耕雲齊樣のお勸めで戰爭は打切り、大炊頭樣は軍勢を磯ヶ濱へ引上げになつたさうでございます。それで武田耕雲齊樣のお姿が見ねないさうでございます』

吉田眼科病院

●あらゆるお好みの……柄合とお値頃……豊富に取揃へました●
パラソルは中野洋品店
◎おつとめ品……パナマ帽子九十八錢◎
●平二電五三番●

夏の健康に
定評ある……江戸川のうなぎを
七月廿二日 八月三日は土用の丑の日
うなぎ料理專門　江戸川　電話五四七番

吉例賣出し
七月廿二日は土用丑の日
牛肉の御用命は他店の追隨をゆるさぬ
三二三やへ
電話三二三番　田町大通り

土用丑の日
七月二十二日…八月三日
うなぎ御用命は奴へ
うなぎ奴　田町　電話二二番

吉例賣出し
七月廿二日 八月三日は土用の丑の日
大蒲燒。うな丼
例年の通り多少不拘御命を御待して居ります。
出前は迅速仕ります……。
松本樓　電話百十三番

今般お客樣の御勸めにより、大正五年當時賣出した事ある天ぷらを始めました、何卒御試食を願ひます
主材料　車海老　銀魚　穴子
其他御注文に應ず。
金ぷら　大貞　平町田町　電話四百十三番

小兒科・內科
特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。
平町。ねずみ坂
滯留 隨意
渡邊醫院　電話一六一番

土用丑の日　七月廿二日 八月三日
魚榮自慢の
うなぎ丼　金三十五錢 金五十錢
蒲燒　金五十錢以上
右吉例により奉仕的に勉强致しますから多少に不拘御用命を御願致します
（出前迅速）
魚榮　田町　電話四二四番

專門　一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之　女醫 川井安子

お聞きになりましたか
雨の大川端　池上利夫
若き日の夢　淺草〆香　（一四二四番）
ポリドール會社が忘られぬ花發賣以來の傑作と自信を以てお勸めする流行歌です。
皆々樣の御試聽を御待ち申し居ります。
會田時計店　平　四　電話三六四

貸切ノ御用命ハ
ゼヒ三井自動車部へ
電話六八五番
乘合は　好間…合戶…澤渡方面行

產科　婦人科　花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

各町村代理店募集
外務內務數名募集
委細面談又ハ通信ヲ乞フ
東京モリス勸業株式會社
平出張所
平町立町一〇六

政友會からを原則に穩健な態度で交渉開始
縣議補闕選擧漸く本格化

石城政友倶樂部では昨十九日午後一時から平町大村屋旅館に於て幹部會を開催、木村會長、井上幹事長、顧問小林藏次、金成上院議員其他常任幹事等二十數名出席、赤坂毅一氏の長逝に因る縣議補闕選擧の件に就て協議の結果政友會所屬縣議の補欠選擧なので依然同派より選出するを妥當すると云ふ理由の下に民政黨側に穩健な態度方法により部會長、幹事長から懇談を進める事に決定した、因に選擧は告示後二十日以內に於て執行されるので今日直に告示されると假定すると大体來月十日以後に行るはる事となるべく觀測される

小名濱海岸から稀有の漆草發見
學界の權威が研究に沒頭

小名濱水產試驗場では此程同海岸の四、五尋の場所から海草中最も珍奇なうるし草通稱『わかめころし』を發見目下同場並びに我が國水產學界の權威岡村金太郞及植物學の泰斗たる東大助教授大學客員三宅驥一理博や農大教授國枝博士等が調查研究に專念してゐるがうるし草は如何なる海草をも變色させる珍しい海草であると

水工で購入した精巧な魚粉末機
劃期的の牛蒡利用策に 農林省で二萬圓補助

磐城水產工業株式會社では豫て鰯の利用厚生に就て研究中の處今回六萬圓の巨費を投じ大阪安治川鐵工場製作に係るミーキン魚粉末機を購入し來月から据え附け直に着業する事になつた。該機は別に乾燥等の手數を要せず生魚を直ちに粉末に精製し隨つて鰯固有の成分を發散せしめず優良なる肥料とするを得ると云ふ現在では九州一ヶ所にある丈けの精巧なもので地方の產業を開發する事少からず農林省では之が購入資金中へ二萬圓を補助すると

死傷軍人の子弟授業料免除實施
磐中の該當者廿七名

磐中では縣からの照會に依り一昨十八日全校生徒の戰公傷病死者公務從軍者及び下士官以下軍人の公務傷病者の子弟を調査したが該當者は左記廿七名でこれらは何れも授業料を免除される事になつた

傷痍疾病 一年二 二年六 三年一 五年四 計十三
下士官以下の死亡 二年一 三年一 計二
同上公務傷痍、疾病 一年一 二年二 三年一 四年二 計六
下士官以下事變從軍 二年一 三年一 四年四 計六

郡下地質調査
高淸水敎諭以下委員決定

縣敎育會では五ヶ年計劃で縣下の地質調査を行ひ地質圖を作製すべく來月から縣下を十七區域に分けて夫々調査を開始する事になつたが本郡では
磐中敎諭高淸水勇助、錦校福內一信、小名濱校村田春雄訓導
の三氏が任命されたが此れに就いて高淸水敎諭は左の如く語つて居る
錦福內氏は小名濱、小川小名濱村田氏は井出、川前、私は平、竹貫の四十平方里、主に第四紀層（砂礫粘土、火山灰より成る）で以前東北帝大渡邊、早大德永の兩博士が調査した事がある、調査困難な地域としては御齋所街道を中心とした邊であらう。云々

郡下兒童唱歌大會

郡下小學兒童唱歌遊戲大會が今年は愈々來學期中平第一校當番平第三校講堂で開催されるので平三校では來學期から本格的練習に入るが參加は一校四種目以下であると

水講生實習
一行卅一名來郡

練習船靑暢丸乘組みの水產講習所三年生三十一名の一行は今二十日午後一時小名濱入港縣水產試驗場を見學の上今後十五日の豫定で同港を基點とし鰹漁の實習をなすと

營林署野球
來三十日の白熱戰

平、植田、浪江、原町の濱通り營林署聯合チーム對郡山、福島、白河、石川、棚倉中通り營林署の對抗野球試合は來る三十日午前九時から平町磐中グラウンドに決行されるが本年は第三回目で一昨年は中通り昨年度は濱通り勝利で本年度は兩チームの勢力伯仲し白熱戰を期待されてゐる

。。。。。磐女對平一籠球 明後廿二日午後二時から磐女校グラウンドで行ふ

。。。。。第一生リーグ戰 平第一校六年生は來る廿四日より三日間同校庭で野球リーグ戰を行ふが各組一チームでバッテリー左の如し
一組—田中忠太郎、佐藤喜一 二組—大塚武治、酒井明 三組—山浦一陽、關原定之

第三小學校〰建設委員會〰今二十日午後一時から同校に開き材料檢查其他を協議した

五千圓を返さぬと坂東三津五郎を訴ふ
九月十一日平で辯論開廷

平町鍛冶町志賀甚吾が東京松竹專屬興行部俳優坂本三津五郎事守田壽作を相手取り平支部に提起した貸金五千二百圓の請求訴訟の口頭辯論は來る九月十一日中島裁判長係りで開廷される

濱三郡教員庭球大會
昨日迄申込既に五組

來月三十日磐中コートで開かれる濱三郡教員庭球大會申込は昨十九日迄左記五組で例年以上の多參加を豫想されてゐる
（赤井第二）山崎、安倍、金子、斑目、松本、松本（多）白坂、加藤（勿來）小澤、菅野、眞船、正木武治、鈴木俊太郎、田久治

野球後援募集

磐陽野球後援會では來る廿三日の縣下中等學校野球大會に應援團を組織すべく會費は一圓五十錢で希望者は三丁目下藝し方に申込まれたい

譽の田卷家
六名の軍人を出し其筋から表彰さる

一家から
長男榮一（近衞步兵伍長）二男誠（司步兵伍長）三男欽一（輜重兵大尉）四男隆一（近衞步兵上等兵）六男悅次（同上）七男春三（仙台工兵疾兵除隊）八男重三（騎兵上等兵）
以上六名の軍人を出した平町二丁目田卷造酒之助翁は今二十日左記表彰狀に添へ銀盃一個を贈られた

平町二丁目 田卷造酒之助
一家より六名の兵役服務者を出したり仍て昭和六年勅令第二百五十五號により銀盃一個を賜ふ
昭和八年七月廿日
賞勳局總裁正四位勳二等 下條康麿

。。。。第一籠球練習 平第一校では九月の郡下小學兒童競技大會のバスケットに主力を注ぎ夏休中も松本、佐藤、横田の各訓導指導の下に猛練習をするがメンバーは左の如くである
（A組）田中忠太郎、友部六郎、太田甚吾、關內弘吉、佐藤喜一（B組）佐藤澤夫、新井保知、大塚

貯金は平町が首位
一人當り百五十九圓

平郵便局最近の調査に係る縣下主要都市の郵便貯金狀態は（單位千圓）
福島 四七五、七〇〇
郡山 三七二、九〇〇
若松 四五三、五〇〇
平 三一三、九〇〇
で一人當りは平が最高で百五十九圓、次が福島の百六圓、若松八十七圓、郡山五十二圓の順である

。。。。第三職員旅行 平第三小學校職員一同は今夏休を利用して第一班は水鄉鹿島香取、成田、多摩陵、高尾山へ。第二班は富士、箱根小田原方面へ見學旅行すると

謎は深み行く
四家（豊間生れ）の女將殺し 仙台で第五回目公判

石卷市住吉町料理屋角海老の女將千葉さつき殺し豐間村生れ四家政男（三五）の殺人事件は十八日午前十時から仙臺地方裁判所で島津裁判長係り、遊田檢事立會ひ遠水菊地、北村、大久各辯護人出廷、第五回公判を開廷した證人東北帝大石川醫學博士に被害者の傷の證據品の『箱枕で出來たものか否か』につき再鑑定を依賴し次いで本件のかなしいエピソード、酌婦三人心中の一人五十嵐よし子の實母よね（五五）を喚問

よし子は角海老の養子家督になるとの話で只で貸してやつたものだ、金は二回に九十圓を受取つたが四百圓も借金があつたのは知らない、事件のあつた當時面談したいからすぐ來いとよし子からの手紙で石卷に行つたがこの時は警察に一週間留められ出て來た時には一足遲ひでよし子は北上川で心中してしまつて會へなかつた、遺書などは何にもなかつた、女將との仲はよく判らない

と述べ、殺された女將の情夫高橋儀三郎（四六）證人は

さつきは氣が强い女で五十嵐よし子ゝ勝氣だつた然し爭ひは見たことがない、四家といふ情人がよし子にあつた話もきかぬし、四家が身請けをするといふことを聞いたことはなかつた、警察で酌婦等を歸す時『今晚だけは何も酌婦から聞かずに休ませてやれ』と云はれたので聞かずにゐたらその晩三人とも心中してしまつた、心中した原因は今でも不審でならない

と供述した、かくて酌婦の心中事件を背景に秘められた女將殺しの謎は愈々深められて行くばかりでこの日の證人訊問を終り、正午閉廷した。次回石川博士の鑑定をまつて公判を開廷する筈である

縣稅徵收成績良好
公賣前殆ど完納

整理に手古摺つて居る縣稅務平出張所の今年度前期分滯納物件の公賣は十八日同所平町外十九ヶ村百四十七件、金額二千五百三十七圓二十錢、今二十日植田町役場で同町外二ヶ町村百六十一件、金額二百二十二圓八錢分を執行したが春繭の高値から當日に殆と完納され成績極めて良好であつた

。。。。早大勿來會 磐中出身早大關係者よりなる勿來會今夏總集會は來月一日平町に於て開催することに內定諸般の準備を進めてゐる

闇の抱擁が明るみへ
不具の女を手込めにした 現實暴露の認知訴訟

平町字仲間町七一內田淸利決廷代理人母トシ（二四）が山野湯辯護士を代理人として隣家なる靑木淸を相手取り此程私生子認知の訴訟を平區に提起したトシは發育不良で一見十五、六才にしか見えず昨年來腦を患つて居る恵まれぬ女性で昨年二月のある夜風呂貰ひに來た男の爲に暴行を加へられ其後關係を續け昨年十二月十七日男子を分娩今日に至つたものであると

。。。。平窪競泳大會 平窪村靑年團員より成る体育獎勵會では明後廿二日午前九時から同村愛谷堰にて競泳大會を催すが優秀者には賞品を授與すべく尙一般の參加も歡迎すると

丑の日臨時列車

平驛では明後二十二日の第一丑の日に波立藥師參詣及四倉行のため（往）午前七時五十五分、八時十七分着、九四十分十時二分（復）四倉發午後四時二十三分の臨時列車を運轉すると

第三小學署休行事

平第三小學校今夏休中の行事次の如く決定した
△努力展（綴書植動物標本）來月十五日 △豊間—海濱學校（豊間尋五、六）同六日 △閼伽井嶽行軍（尋五、六）同十、十一日 △早起會黎明學校（尋三以上）同十日二十三十日 △徹夜會（尋五、六）同二十七日 △夜行軍試膽會專稱寺、白土八幡に於て △ラヂオ体操—一日、三日十一日 △籠球指導—二十五日

。。。。平區戶籍會 明二十一日から二日間、小名濱小學校で開く

小川疑獄清算近づく
懲役一年三月を求刑さる

幽靈人夫で千五百餘圓を詐取した上小川村大字上小川字橫川前四六田久乘治（四六）に係る業務上橫領、詐欺背任事件の公判は昨十九日午前十一時から平支部に於て中島裁判長係、關口、竹內兩判事陪席、小林檢事關與千葉、安齊兩辯護人列席の下に開廷、懲役一年三ヶ月を求刑言渡しは來る廿六日午前九時

銅線泥に五月

川部村大字沼込字房六岩崎太郎事坑夫李鎮泰（四六）に係る窃盜罪の公判は今廿日午前十一時から平區に於て中島裁判長係りで開廷、求刑通り懲役五ヶ月を言渡された

。。。。立木公賣入札 平營林署管內永戶三坂上小川川前方部百八十町步の立木公賣は來月八日管下一齊に執行されるが入札人數は二百餘名であると、尙ほ內村同署長は今二十日富岡營林署へ出張公賣の打合せをなした

海水浴團体

來二十三の日曜は海水浴客の雜踏を豫想されてゐるが今二十日は郡山方面から四倉へ五百名の團体申し込みがあり尙續々申し込みがある模樣であると

御愛乘下さい
シボレーに！
そは先驅者なり

第一校耐熱行軍

平第一校では明廿一日午前七時半から左記の如く全校生徒の耐熱行軍を行ふ
一年—鎌田山 二年—神谷村虛空藏尊 三年—同村立鉾神社 四年—草野村澤村神社 五、六年—同村赤沼浦 高等科—大浦村仁井田浦

準禁治產取消申請却下

錦村大字仲田字鷺安島辰之助（四〇）が實姉クニ（四三）の準禁治產宣告取消しの申立ては今廿日平支部に中島裁判長係りで開廷申立を却下された

。。。。戶籍件數減少 平町に於ける今月中の戶籍異動は二十日現在で入寄留男三十、女二十四、計五十四名、出寄留男五、女七名で前月の入寄留男六十三、女四十九出寄留男十、女十一に比し何れも減少を示してゐる

。。。。靑年學校捷つ 對世界館野球戰は昨十九日午後一時から仲間町自動車學校グラウンドに開き八對六

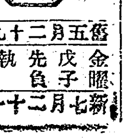
貸間
間數五間（六疊八疊）
眺望よく高臺大平洋を一目日中にても入浴の便あり希望の方は至急來談の願ひます。
四倉新町大夫坂 元山の湯 野木タケ

。。黑鼠 好間村小館古河炭鑛通機工高野八十工門（三七）は五年前から前後二十八回に亘つて同鑛倉庫から鉋金製ストブバルブ十五貫匁（價格三十一圓四十錢）を窃取した事發覺昨十九日夜平署に檢擧さる

。。旅費 新潟縣南蒲原郡鹿峠村大工四家寅治（三九）は東京から北海道方面に出稼に行く途中旅費に困つて今二十日平署にお定まりの旅費給與方を願ひ出た

。。泥醉 平町鎌田町日雇金成美好（三六）は昨十九日午後十一時頃泥醉して南町料理店の酌婦を素見し通行人に毒付いて居るのを巡邏中の平署員に發見され嚴重說諭された

。。家出 茨城縣久慈郡西小澤村中鹽農白土利夫（二〇）は渡米を親が許さぬのを悲觀し十六日一生自宅へは戾らぬ旨の遺書を殘して家出したので身寄りから今二十日平署に搜索方を願ひ出た



舊五月二十九日 金曜 戊子 先負 執 鬼宿 新七月二十一日

▲一白の人 氣分引立ちて何事も遂げ得る感あり漸行吉▲二黑の人 短慮焦躁は益不良に導く事となる注意の日▲三碧の人 一時凌ぎの當策は却て後の患を大ならしむ▲四綠の人 勇氣を殺がず盡力すれば難事さへ遂ぐべし▲五黃の人 口數を愼しみ眞面目なれば漸次に良果を得▲六白の人 山路に迷入りて日暮となりたる如き不安日▲七赤の人 物事にあき易く實績に遠ざからんとする日▲八白の人 內に災潜み外に禍の襲はんとする凶惡の日▲九紫の人 勢に任せず進むに過ぎざれば計畫遂せらる

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

土用丑の吉例により 七月廿二日 八月三日
牛肉大廉賣
ヒレ 金七〇 上肉 金四〇
ロース 金六〇 中 金二五
最上 金五〇 並 金二〇
多少不拘御用命御願申し上ます。
田町 石川亭 電話三四番

七月二十二日は土用丑の日
牛肉の御用命は品自慢の大塚肉店へ
ヒレ 金七〇 上肉 金四〇
ロース 金六〇 中肉 金二五
最上 金五〇 並肉 金二〇
驛前通り 電話六六七番

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番） 藤田女學校前

齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

外科全般 內科小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
（入院應需）
渡部外科